一般社団法人 大阪府山岳連盟広報紙

山岳おおさか

http://sangaku-osaka.com/

No.219

平成31年冬号 2019年1月10日発行 〒537-0014 大阪市東成区大今里西2-5-12 TEL 06-6973-3675 FAX 06-7504-4214 yamaosaka@hera.eonet.ne.jp

大阪府山岳連盟は2016年に創立70周年を迎え、一般社団法人に移行致しました。今後、より公益性、社会性の高い法人として、登山を始め山岳スポーツの普及と発展に努めてまいります。

ホームページ　Eメール

New 道迷い遭難防止に役立てる…「ナビゲーション力（地形と地図を読む力）」を高めよう！

第1回～3回で登山道でのナビゲーションを行ってきましたが、今回は身近な都心で「方位」を楽しみながら「ナビゲーション力」を身につける「コンパス術」を紹介します。さあ、道迷い遭難防止に役立てていきましょう。

第4回のテーマ

身近な都心で遠足気分
「大阪市内で方位を楽しむ！」
〈初・中級編〉

城北公園（大阪市旭区）から毛馬閘門（同都島区）までの淀川河川敷で、「**今、どこにいる？**」「**目標のビルはどれ？**」などコンパスと地図をにらめっこしながら散策しました。

サイクリングやランを楽しむ人、広い河川敷でひと時を過ごす家族などに混じり、私たちも何となく遠足気分。「方位」を測定しながら半日を楽しみました。

楽しみ方その1

現在地を知る手がかり〈クロスベアリング法〉

クロスベアリング法とは、陸地が見える航海などで今でも使われるオーソドックスな測量法です。3カ所ほど目標物との角度を測り、地図上に**目標物から見た方角の線**を引き、線の交わる付近から現在地を見つける測量法です。線は1点に交わらず、**測量上の誤差が生じる**ため交差付近が**三角形**になります。その中心付近が現在地で、使い慣れるうちに三角形は小さくなります。

クロスベアリング法は、いかに正確に方位を測るか、また磁場の影響を受けないかがポイントになります。例えば、コンパスプレートが目標物よりずれたり（赤線）、磁場（鉄、電気製品、携帯電話など）の影響を受けたりすると、正しい方位が測れません。

〈前ページより〉

ところで、コンパスをぶら下げているストラップで目標物を透かすように見ると、方位の精度が上がり、クロスベアリング法もより実用的になります。現在、青山先生を中心としたグループで、クラシックな技術で山をもっと楽しもうという研究が行われ、より簡単で精度の高い測量法も色々と試されています。

楽しみ方その2

目標物を知る手がかり〈山座同定〉

山座同定とは、現在地がわかっている場合に目標物との角度を測り、地図上に**現在地から**コンパスなどをあてて、目標となる山などを特定する方法です。

目標に向かって正対して、コンパスを胸の前で水平に構え、プレートの矢印を目標物に合わせます。

※方位の角度は、観測する位置によって変わります。

まるで北アルプスの山並みのようにそびえる「梅田山群」。ターゲットの「梅田スカイビル」は、他のビルに隠れて発見しにくい少々意地悪な設定(笑)

地図上で、コンパスリングの赤い矢印と磁北線を重ね、現在地にプレートの縁を当てます。プレートの、縁の先にあるのが目標物です。

高層ビルが林立しており、少しでも測り間違うと正しいビルが特定できない。「山より難しいですわ！」と、思わず苦笑！